

# 平成30年度指導教諭の紹介

<b>教科（科目）</b>	<b>1 授業の特徴</b>
外国語（英語）	<p>英語を正確に理解し、自分らしい豊かな表現ができるようになるためには、できるだけ多くの英文に触れ多彩な言語表現や文化に触れ、英語で表現する多様な機会を持つことが、その土台になると考えています。また、語彙や基礎的文法知識を高め、英語独特の文構造や論理展開の方法を学ぶことも欠かせません。</p>
<b>名前</b> (ふりがな)	<p>「たくさん」触れ表現すること、と「正確に」理解し表現すること、の両立をいかにさせていくかを自分の授業の課題として捉え実践しています。</p>
川野 敬吾 (かわの けいご)	<p>特に1, 2年生までは、教科書以外の言語材料も用いて様々な英語に触れ、英語で表現する多様な機会を作り、3年生に向けて徐々に正確性が増すよう段階的に指導しています。伝えたいメッセージは何か、それを効果的に伝えるためにどのような工夫がなされているかを、英文を理解する場合でも表現する場合でも生徒に意識させるようにしています。</p>
<b>勤務校</b> (問い合わせ先)	<b>2 教科指導に関して情報提供や協議が可能な事項</b>
大分県立別府鶴見丘 高等学校 住所：〒874-0836 別府市大字鶴見字 横打 4433 番地の 2 TEL：0977-21-0118 FAX：0977-26-4825	<p>・多読の取り組みについて（生徒が十分なインプット量を確保するために「多読」を積極的に促してきました。Penguin Readers や易しめのペーパーバックを楽しむ感覚で段階的に読ませ、授業の中で英問英答などをして内容を確認し、コミュニケーション活動にもつなげるようにしました。）</p>
<b>授業公開の日程</b>	<b>3 研修講演等が可能なテーマ</b>
3年：コミュニケーション英語Ⅲ：水曜3限、 固定	<p>・上記のような多読などを通じて楽しく英語を学んでいく方法について</p>
3年：英語表現Ⅱ：木 曜1限、固定	<b>4 活動実績</b>
	<p>・平成27年第65回全国英語教育研究大会大分大会分科会発表、題：「表現力育成を重視した英語授業のあり方」 ・平成28年ELPA（英語運用能力評価協会）英語教育セミナー「英語4技能対応の授業を考える」にゲスト講師として参加</p>
	<b>5 自己紹介、プロフィールなど</b>
	<p>指導教諭としては2年目です。実業系の学校から進学校まで様々な生徒に対して授業を行ってきて25年になります。</p> <p>趣味と勉強を兼ねて、英語の本（主に小説）を読むようにしていますが、初めて出会う単語や表現に毎回触れ、まだまだ知らないことだらけだなあ、と実感する毎日です。感動する本などに出会えたときは、生徒に紹介をしたり、多読に取り入れたいしてきました。</p>
	<b>6 学校紹介</b>
	<p>本校は創立108周年目を迎えました。校訓は「質実剛健」、学校教育目標は「学力と人間性を兼ね備えたタフな鶴高生を育成する」であり、生徒と教員が一丸となって、お互いが成長を遂げようとする学校です。文武両道をモットーとし、進学・就職、部活動の実績など、輝かしいものがあります。別府鶴見丘高等学校は過去の伝統を大切にしつつ、未来に向けて活気あふれる高校として今後ますます発展していきます。</p>
	<b>7 学校や関係HPのリンクなどアドレス</b>
	<p><a href="http://kou.oita-ed.jp/bepputurumigaoka/">http://kou.oita-ed.jp/bepputurumigaoka/</a></p>